

**令和3年度 指定管理者年度総合評価表**  
(令和3年4月～令和4年3月実施分)

作成日	令和4年6月1日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	水産科学館	
所在地	八戸市大字鮫町字下松苗場 14-33	
施設概要	設置目的：八戸市の水産に関する資料及び海の生態に関する資料等を展示すること、並びに その他水産に関する知識の普及及び向上を図る。 構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造5階建	
指定管理者	名称	企業組合かぶあがり
	代表者	代表理事 吉井 仁美
	所在地	八戸市大字是川字二ツ家 6-38
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日	
指定管理者の業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市の水産、海の生態に関する資料等の企画、展示に関すること。</li> <li>・施設の使用許可に関すること。</li> <li>・施設整備等の維持管理に関すること。</li> </ul>	
市所管課 (問合せ先)	商工労働観光部 観光課 施設グループ	
	電話	0178-43-9536 (直通)
	E-mail	kanko@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの皆様から「魅力ある施設」として利用されることを目指し、各階の企画展示を歳時記や旬の話題を意識しながら取り組んだ結果、コロナ禍にありながらも 43,926 人の入館者を確保し、減少を最小限にすることができた。</li> <li>・マリエント通信の発行形態やポスター作製後の発送方法を見直し、経費の削減に取り組んだ。</li> <li>・水産科学館・観光施設・公共施設として各階（3階4階5階）の魅力を広げ、利活用が促進されるよう、利活用情報をマリエント通信やホームページで紹介・周知した。</li> <li>・スタッフの質の向上を目指し、防火管理者資格（2名）や潜水士（1名）の資格取得を進めた。</li> <li>・安全安心の施設を目指し、避難訓練の実施・安全訓話・防災学習を定期的を実施するとともに、各階フロアにヘルメットを設置し、毎朝の朝礼での確認を繰り返して安全の確保に努めた。</li> <li>・障がい者支援センター、青森県立高等支援学校、各中学・高等・専門学校の職場体験の受け入れなどを積極的に実施し、公共施設としての利用と社会貢献の役割を果たすとともに、幅広い分野との連携を深めながら、企画展示の充実や人材の確保に向け取り組むことができた。</li> </ul>
今後の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展示や自主事業、売店事業、飼育技術など、企画充実と技術の成長を促すために人員配置や担当を見直し、入館者の皆様に最善最良の場と安心の場を提供できるように努める。</li> <li>・多くの入館者の皆様に満足をして頂けるよう、館内外の環境整備、電話の応対・お客様の案内・展示物掲示物への説明などの更なる質の向上を目指す。</li> <li>・原油価格・物価高騰の状況が続いているため、光熱水費や発送経費等の削減に努める。</li> <li>・設備機器の経年劣化や自然災害による故障に備え、各設備の点検や施設見回りをを行い、異変の予兆を見逃さないようにする。</li> <li>・今後の新型コロナウイルス感染症の状況及び対策方針の変化に柔軟に対応するとともに、防火等施設の安全管理に備え、職場内研修や訓練を実施する。</li> </ul>

## ■市（所管課）の総合評価

<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの指定管理業務で培われたノウハウを生かし、各種企画や展示を実施していた。</li> <li>・附帯業務である「ちきゅう」たんけんクラブの活動では、コロナ禍で活動内容に制限がある中、感染防止に留意しながら積極的に事業を実施していた。</li> <li>・地域と連携したイベント等の開催や開館時間の延長等による来館者数の増加と市民サービス向上に努めていた。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響による休館日を利用して、館内外設備、水槽設備、修繕箇所の点検を実施していた。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響による、休館や時間短縮営業に伴って発生する事務に対して、柔軟に対応していた。</li> <li>・施設の維持管理では、適切な管理がなされており、経費の削減に努めていた。</li> <li>・障がい者支援センターや各学校等の職場体験の受け入れを積極的に実施するとともに、幅広い分野との連携による企画展示の充実を図っていた。</li> </ul>
<p>指摘事項</p>	<p>特になし</p>

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

## ■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	<p>条例（施行規則）で定められている休館日（月曜日）を開館したほか、開館時間を延長し臨時休館を必要最小限に留めるなど、市民サービスの向上に努めていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業により季節ごと（年3回）に「夜のマリエント」を実施し、開館時間を通常より2時間延長。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市から要請を受けての休館は、令和3年8月29日～9月30日、令和4年1月24日～3月21日。（計90日）</li> <li>時間短縮営業は、令和4年3月22日～4月11日（21日間）、3時間短縮。（10時～15時←9時～17時）</li> <li>・臨時休館日は、令和3年5月6・7日、8月25日、令和4年1月16・19日。（計5日）</li> </ul>
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合（選定時加点）	◎	令和2年3月に雇用した障がい者1名は現在も継続雇用している。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合（選定時加点）	○	提案内容とおおむね同水準の地域貢献活動が行われていた。
従事者の教育・研修	◎	<p>従事者の教育や研修が非常によく行われていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・甲種防火管理講習会2名受講、甲種防火管理者 2名資格取得。</li> <li>・潜水士免許 1名取得。</li> <li>・従事者対象の防災学習会を実施。</li> </ul>
緊急事態への対応	○	<p>事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。</p> <p>【1月16日 津波注意報発令により臨時休館措置あり】</p>

文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免 ※承認料金制の場合	○	減免手続が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。また、管理はそれぞれ別の人物が行っていた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
付保する保険 ※協定書で指定管理者に保険加入を指定している場合	○	協定書で指定する保険に加入していた。
指定管理開始前における準備	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況		
指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	○	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館とした日数は、令和2年度 23 日間（4月 18 日～5月 10 日）に対し、令和3年度 90 日間（令和3年 8月 29 日～9月 30 日、令和4年 1月 24 日～3月 21 日）で 67 日間増であったが、入館者数の対前年度比は 99%と、おおむね同程度であった。</p> <p>入館者増加に向けて企画展示では旬の話題を取り入れ、広報紙やホームページを利用して積極的な情報発信が行われていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 目標入館者数 60,000 人 実績入館者数 44,306 人（対前年度比 69%、目標達成率 74%）</li> <li>・令和3年度 目標入館者数 50,000 人 実績入館者数 43,926 人（対前年度比 99%、目標達成率 88%）</li> </ul>
自主事業	○	<p>コロナ対策を徹底した上で、入館者増加に向けて、各種自主事業を積極的に企画・実施していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売店事業 ・自動販売機事業</li> <li>・水の生き物 特別体験事業</li> <li>・企画「夜のマリエント」開催</li> <li>・元旦の開館及び来場者へのお振舞い</li> </ul>
その他の取組 （運営に関する工夫）	○	<p>附帯業務である「ちきゅう」たんけんクラブの活動により、サービスの向上を図った。</p> <p>&lt;主な活動内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JpGU（日本地球惑星科学連合）2021 オンライン大会</li> <li>・蕪島から恵比須浜清掃活動</li> <li>・海上保安庁の仕事大研究 鮫角灯台見学</li> <li>・海上自衛隊護衛艦「はぐろ」艦内特別見学</li> <li>・地球深部探査船「ちきゅう」模型完成セレモニー</li> <li>・水産市場大研究</li> <li>・はちのへ「ちきゅう」情報館開館 14 周年、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ発足 14 周年記念式典</li> </ul>

3 収支状況																																																															
指標	評価	評価に対する説明																																																													
指定管理業務の収支状況	○	<p>収支計画は達成していないが、黒字であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料金収入は、新型コロナウイルス感染症の影響により入館者減少し、収支計画を下回った。</li> <li>・しかし、感染拡大防止に伴う臨時休館に合わせたパートスタッフの勤務時間の短縮や、アルバイトを休みにするなどの人件費削減、マリエント通信の発行形態やポスター作成後の発送方法を見直しなどによる一般事務費の削減により、支出が計画より抑えられていた。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">収入①</td> <td>利 用 料 金</td> <td>12,446,000</td> <td>9,088,386</td> <td>9,208,560</td> </tr> <tr> <td>指 定 管 理 料</td> <td>43,590,000</td> <td>43,590,000</td> <td>43,590,000</td> </tr> <tr> <td>実 費 収 入 (ちきゅうたんけんクラブ等)</td> <td>125,000</td> <td>115,500</td> <td>126,500</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス対策補助金</td> <td>—</td> <td>864,000</td> <td>1,536,000</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>8,858</td> <td>8,858</td> <td>9,010</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>56,169,858</td> <td>53,666,744</td> <td>54,470,070</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">支出②</td> <td>人 件 費</td> <td>25,627,000</td> <td>21,991,001</td> <td>21,547,637</td> </tr> <tr> <td>維 持 管 理 経 費</td> <td>21,475,858</td> <td>22,038,834</td> <td>19,994,814</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>5,567,000</td> <td>4,954,474</td> <td>4,436,349</td> </tr> <tr> <td>租 税</td> <td>3,500,000</td> <td>2,568,639</td> <td>3,927,142</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>56,169,858</td> <td>51,552,948</td> <td>49,905,942</td> </tr> <tr> <td></td> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>-</td> <td>54,048</td> <td>8,858</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収入－支出(①－②－③)</td> <td>0</td> <td>2,059,748</td> <td>4,555,270</td> </tr> </tbody> </table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	利 用 料 金	12,446,000	9,088,386	9,208,560	指 定 管 理 料	43,590,000	43,590,000	43,590,000	実 費 収 入 (ちきゅうたんけんクラブ等)	125,000	115,500	126,500	新型コロナウイルス対策補助金	—	864,000	1,536,000	修繕料繰越金	8,858	8,858	9,010	計	56,169,858	53,666,744	54,470,070	支出②	人 件 費	25,627,000	21,991,001	21,547,637	維 持 管 理 経 費	21,475,858	22,038,834	19,994,814	事業費・一般事務費	5,567,000	4,954,474	4,436,349	租 税	3,500,000	2,568,639	3,927,142	計	56,169,858	51,552,948	49,905,942		次年度修繕料繰越金③	-	54,048	8,858		収入－支出(①－②－③)	0	2,059,748	4,555,270
	項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																											
収入①	利 用 料 金	12,446,000	9,088,386	9,208,560																																																											
	指 定 管 理 料	43,590,000	43,590,000	43,590,000																																																											
	実 費 収 入 (ちきゅうたんけんクラブ等)	125,000	115,500	126,500																																																											
	新型コロナウイルス対策補助金	—	864,000	1,536,000																																																											
	修繕料繰越金	8,858	8,858	9,010																																																											
	計	56,169,858	53,666,744	54,470,070																																																											
支出②	人 件 費	25,627,000	21,991,001	21,547,637																																																											
	維 持 管 理 経 費	21,475,858	22,038,834	19,994,814																																																											
	事業費・一般事務費	5,567,000	4,954,474	4,436,349																																																											
	租 税	3,500,000	2,568,639	3,927,142																																																											
	計	56,169,858	51,552,948	49,905,942																																																											
	次年度修繕料繰越金③	-	54,048	8,858																																																											
	収入－支出(①－②－③)	0	2,059,748	4,555,270																																																											
自主事業の収支状況	○	<p>収支は黒字となった。</p> <p>収入：3,315,032円 支出：2,125,774円 収支：1,189,258円</p>																																																													

4 運営に係る体制整備等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	ウェブサイトや広報紙で積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。 アンケート回収数 148枚(前年度：182枚)
苦情・要望等への対応	○	<p>苦情、要望等に対し、適切に対応していた。</p> <p>令和2年度実績 4件(苦情0件、要望4件) 令和3年度実績 5件(苦情2件、要望3件)</p> <p>&lt;苦情の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空いている水槽が多い。</li> <li>・5階トイレが和式のみで子どもには使用しづらい。</li> </ul> <p>&lt;要望の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験ツアーが楽しかったので今後も続けてほしい。</li> <li>・飼育難易度を表示してほしい。</li> <li>・珍しい魚が見たい。</li> </ul>

個人情報の保護	○	個人情報等保護の規程が整備され遵守されていた。（運用実績なし）
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、従業員に随時注意を促すなど、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	説明文の掲示を低い位置にする等の丁寧な工夫がなされていた。

## ■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	<b>実施状況</b>
自主点検状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者からの直接の意見や、館内に設置したアンケート箱による利用者の意見を参考に、業務の改善を随時実施した。</li> <li>・有識者や地元漁業者等を訪問し、意見やアドバイスを受け管理や運営に反映した。</li> <li>・施設及び設備の定期点検を行い、必要な修繕を随時実施した。</li> </ul>

2 定期モニタリング	
	<b>実施状況</b>
定期報告状況	月例報告書が遅延なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	24回	4月6・12・20・30日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		5月10・19・27日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		6月8・10・22日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		7月2・12・14日	担当	施設運営等に関する打合せ
		8月23・24・28・31日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		9月27日	担当	施設運営等に関する打合せ
		10月13・20日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		11月11日	担当	施設運営等に関する打合せ
		12月23日	担当	施設運営等に関する打合せ
		1月21日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
	2月1日	担当	施設運営等に関する打合せ	
<b>実施結果</b>				
施設運営や修繕等に関する打合せを行った。				

※GL：グループリーダー